

扇山&百蔵山山行報告

【山行日】2024年 11月 4日(月) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 5:00

【費 用】マイカー1台 : 4,000円

【メンバー】CL:鈴木ユ、 SL:廣瀬ナ、
石澤、小林、佐藤、根本

【コースタイム】岩舟支所 P5:00=梨ノ木平登

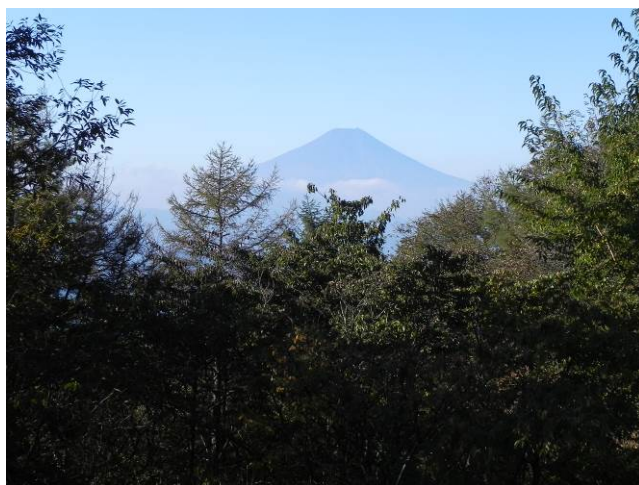
山口 P6:30/6:50~扇山 8:10/8:20~コタラ山

9:40~百蔵山 10:25/11:00~展望ポイント

11:15~大月総合グランド P11:45/12:45=

猿橋 12:55/13:20=岩舟支所 P15:15

当初の計画では屋久島宮之浦岳山行の予定だったが中止になり、代替山行として扇山&百蔵山を計画した。大月総合グランド駐車場に車を



止め、梨ノ木平登山口にタクシーで移動の予定だったが、タクシーの予約が取れず梨ノ木平に車で向かう。東北道から圏央道、中央道を走り、ナビに従って談合坂スマートインターで降りる。ナビの案内に従って山道をクネクネ曲がりながら進み、予定より30分早く登山口駐車場に着く。出発の準備を整えたら道路の反対側の広場に移動し、トイレとストレッチを済ませる。梨ノ木平には地元の方達が整備した休憩舎があり、少し下った所にトイレも設置されている。案内標識に従って杉林の坂道を登って行く。やがて沢に出

て水場を過ぎ、すぐ先の山の神を見て小休止し衣服調整を行う。さらにジグザグの登山道を登り、自然林の道を登るようになると大久保のコルに着く。右にカラマツやブナの心地よい稜線を緩やかに登ると、まもなく扇山山頂に着く。広々とした山頂には窪地があり、「ゴルフ場みたい」との声が聞こえた。なるほどゴルフ場のバンカーにも見えるが、何よりも富士山の姿が美しい。只、今年の秋は気温が異常に高く、富士山に冠雪が無いので少し残念である。

気象観測130年の歴史の中で、10月に初冠雪が無いのは初めての事らしい。それでも堂々と聳える富士山の存在感は、圧倒的で絵になると感じた。リンゴや菓子をいただきながら富士山を堪能し、記念写真を撮った



ら百蔵山へ向かう。大久保のコルまで戻り、ここからは気持ちが良い稜線歩きが続いている。

紅葉がかなり遅れていて木々の緑が多いが、時折黄色く色づいた木が目を楽しませてくれる。大久保山から一旦大きく下り、急坂を登り返すとカンバノ頭のピークで小休止する。ここからもアップダウンを繰り返しながら稜線を進み、急坂を登り返すとコタラ山に着く。コタラ山は山頂を通らず、カヤトの巻道を進むとコタラ山の下に着く。浅川入口へ向かう道を左に分け、百蔵山への急登が始まる。



急な登りが続きS藤さんの足が限界になり、あと10分くらいで山頂なので3名に先行してもらおう。S藤さんと我輩は後からゆっくり登り、傾斜がなだらかになると百蔵山山頂に着いた。百蔵山山頂も平らで広く、富士山や南アルプスの眺望が得られる。ベンチやテーブルも置かれて、休憩にうってつけ

の場所である。丁度テーブルが空いたので皆で腰掛けて、お湯を沸かしてランチタイムにする。カップ麺やスープを作り、おにぎりやパンを美味しくいただいた。新人さん2人も山頂でのランチは嬉しいようで、「山頂で食べると美味しいですよ」と笑顔で食べていた。ランチが済んだら我輩は一足先に下り、タクシーで車を回収に向かう。SLに4人を任せて、ゆっくり下って来るようお願いする。下山は西側の尾根を下り、大洞山との鞍部から南へ下って行く。鞍部からは富士山の展望が得られ、この先は樹林の中に入り展望は得られない。雑木林からスギやヒノキの林に変わり、水道タンクが現れ山の神の祠を見ると車道に出る。急勾配の車道を下ると両側が住宅地になり、「こんな急坂を車で上るのは大変だな」と思いながら速足で下って行く。タクシーを予約した時間より30分早く駐車場に着き、TELして早く来てもらう。10分程待つとタクシーが到着し、梨ノ木平まで送ってもらい車を回収する。



大月総合グランド駐車場に着くと皆さんが待っていて、靴を履き替え車に乗せたら猿橋に向かう。猿橋に着くと駐車場が満車で、あきらめて帰ろうとしたら「1台分空いていたように見えた」と言われる。Uターンして駐車場に入ると空いては無かったが、丁度出る車があり無事駐車できた。ここから猿橋までは歩いて2~3分で着き、桂川の深い渓谷に架かる橋が見事である。猿橋は日本三奇橋に数えられ、橋脚を一切使わず深い渓谷の両側から張り出した四層のはね木によって支えられる構造になっている。深い渓谷の美しさと相まって、人気の観光スポットである。奇橋の景観を楽しんだら駐車場に戻り、車に乗って帰路に着く。ナビを入れると上野原 IC から中央道へ入れとの



の場所である。丁度テーブルが空いたので皆で腰掛けて、お湯を沸かしてランチタイムにする。カップ麺やスープを作り、おにぎりやパンを美味しくいただいた。新人さん2人も山頂でのランチは嬉しいようで、「山頂で食べると美味しいですよ」と笑顔で食べていた。ランチが済んだら我輩は一足先に下り、タクシーで車を回収に向かう。SLに4人を任せて、ゆっくり下って来るようお願いする。下山は西側の尾根を下り、大洞山との鞍部から南へ下って行く。鞍部からは富士山の展望が得られ、この先は樹林の中に入り展望は得られない。雑木林からスギやヒノキの林に変わり、水道タンクが現れ山の神の祠を見ると車道に出る。急勾配の車道を下ると両側が住宅地になり、「こんな急坂を車で上るのは大変だな」と思いながら速足で下って行く。タクシーを予約した時間より30分早く駐車場に着き、TELして早く来てもらう。10分程待つとタクシーが到着し、梨ノ木平まで送ってもらい車を回収する。

案内で、国道20号線を走って上野原ICから高速道へ入る。予測通り渋滞していたが、小仏トンネルまでの渋滞なので20分程で抜けられた。圏央道に入って狭山 PA で休憩し、その後は順調に走り予定より2時間早く岩舟支所に帰着した。